トップページ デザイン案

件名：公式ウェブサイトのデザイン（架空の公的機関「星野原資料研究所」）

本書は株式会社行間が自主的に制作した制作例に添える文書です。受託業務の納品物ではありません。機関・掲載内容はすべて架空です。2 案とも HTML で実装済みで、制作例のページから実際に操作できます。

1. 2 案の考え方

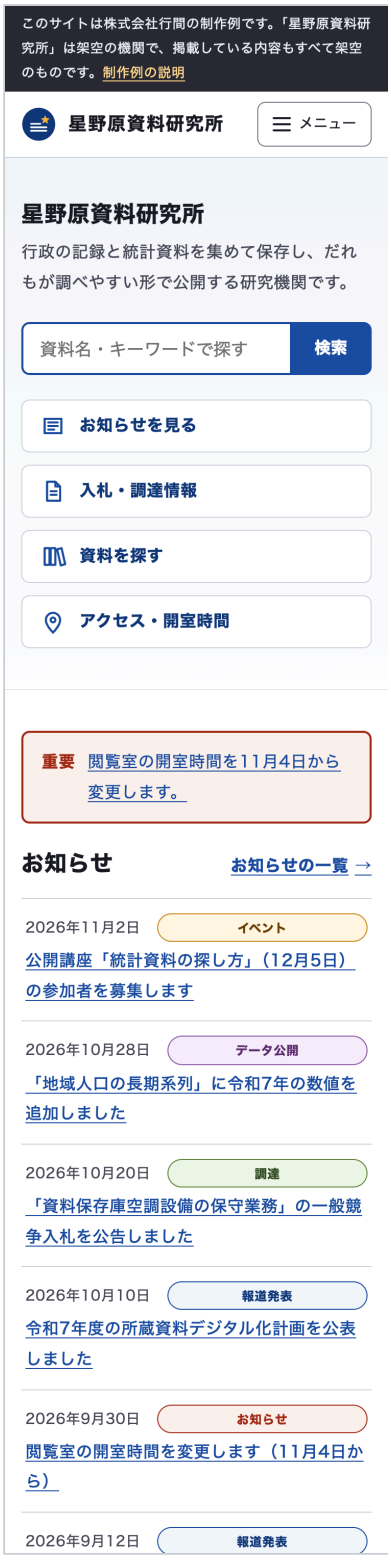
同じ掲載内容（重要なお知らせ、お知らせ 6 件、調達情報、資料、アクセス、English）を、方向の違う 2 つの並べ方にしました。下層ページのテンプレート・色・文字・部品は 2 案で共通です。

	A 案　探しやすさを優先	B 案　機関の姿を伝える
ねらい	用事のある人（入札に参加する事業者、閲覧室を使う人、資料を探す人）が、最短で目的のページに着く	初めて訪れた人に、研究所が何をしている機関かを一目で伝え、資料や研究成果に関心を持ってもらう
最初の画面	機関名と一文、大きな検索欄、目的別の入口 4 つ（お知らせ・入札・資料・アクセス）	濃い青の背景に標語「記録を、これからの判断の材料に。」と、主な行き先 2 つのボタン
お知らせ	最初の画面のすぐ下に、6 件を日付・種類つきで一覧	注目の 3 件をカードで見せ、一覧は 4 件
向いている機関	手続き・調達・閲覧の利用が多い機関	研究・広報の発信を強めたい機関、リニューアルで印象を変えたい機関
共通	「重要なお知らせ」の枠、ヘッダーのサイト内検索、メニュー 5 項目、フッターの所在地。どちらも JIS X 8341-3:2016 の AA を目標に実装し、画面の幅 375px でも同じ情報を表示	

2. A 案　探しやすさを優先



パソコン（幅 1280px）



スマートフォン（幅 375px）

3. B 案　機関の姿を伝える



パソコン（幅 1280px）



スマートフォン（幅 375px）

4. どちらを選んでも変わらないこと

- 下層ページ（お知らせ・組織案内・調達情報・資料・English）のテンプレートと、サイトマップ・ディレクトリマップ。
- トップページからすべてのページへ、2 回以内のクリックで着く（サイトマップ・ディレクトリマップ 1）。
- 自動で切り替わる画像（カルーセル）は使わない。止める操作が要り（2.2.2）、後ろの枚の情報はほとんど見られないため。
- 色・文字・部品はデザインガイドラインのとおり。B 案の濃い青の背景の上でも、文字のコントラスト比は 4.5:1 以上。